

令和2年教育委員会第1回定例会会議録

開会日時 令和2年 1月15日 午前 10時00分
閉会日時 同 上 午前 10時47分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 小花高子
同職務代理者 望月京子
委 員 日高芳一
委 員 齋藤初夫
委 員 塚本 亨
委 員 大里豊子

議場出席委員

・教育次長	安井喜一郎	・学校教育担当部長	杉立 敏也
・教育総務課長	鈴木 雄祐	・学校施設課長	秋元 高志
・学校施設整備担当課長	杉谷 洋一	・学 務 課 長	神長 康夫
・指 導 室 長	加藤 憲司	・学校教育支援担当課長	山岸 健司
・統括指導主事	木村 文彦	・統括指導主事	大川 千章
・地域教育課長	山崎 淳	・放課後支援課長	生井沢良範
・生涯学習課長	加納 清幸	・生涯スポーツ課長	南部 剛
・中央図書館長	尾形 保男		

書 記

・教育企画係長 富澤 章文

開会宣言 教育長 小花高子 午前 10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 小花高子 委員 望月京子 委員 日高芳一
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

開会時刻 10時00分

○**教育長** おはようございます。それでは、出席委員が定足数に達しておりますので、令和2年教育委員会第1回定例会を開会いたします。

次に、本日の会議録の署名は私に加え、望月委員と日高委員をお願いいたします。

それでは、議事に入ります。本日は、報告事項等が3件でございます。

初めに報告事項1「令和元年度第三者評価の実施結果について」の報告をお願いします。

指導室長。

○**指導室長** 私から「令和元年度第三者評価の実施結果について」ご報告をさせていただきます。

まず1の「目的」でございますが、葛飾区立学校における学校運営に関する外部専門家を中心とした評価委員により、自己評価や学校関係者評価の実施状況を踏まえつつ、教育活動その他の学校運営について専門的視点から評価を行い、実施校の教育水準の向上を図るものでございます。

2には3点、「実施校における期待される効果」について示しております。一点目として、全ての教員の授業や課外活動等における児童・生徒の状況を複数の評価委員が観察することにより、教員の授業力や児童・生徒の実態などを客観的に把握することができること。

2点目として、評価委員が管理職、教員、保護者、PTA及び地域住民にヒアリングを行うことにより、実施校の教育課程の実施状況や課題の把握を客観的に行うことができること。

3点目として、それらにより本年度の学校評価に反映し、次年度への教育過程編成につなげることができる。この3点が期待される効果としております。

今年度の実施校につきましては、記載のとおり8校でございます。

4として「評価委員」でございますが、これについても記載のとおり、11人の評価委員で実施をしております。

2ページをご覧ください。実施のスケジュールでございますが、6月に実施校の募集を行い、7月に決定をします。7月31日に実施校及び評価委員対象の説明会を実施し、9月下旬から1校につき2日間、先ほどの評価委員の中の3名から4名の評価委員が学校を訪問し評価活動を行いました。11月28日には、評価委員による評価検討会を実施して、本日、教育委員会へ報告をするものでございます。

本日、教育委員会に報告し、様々なご指摘やご意見を受けたものについて、これから実施校に評価報告書を報告していくという進み方になっております。

6「評価項目」については記載の6点で評価をしております。

評価結果の公表につきましては、実施校及び教育委員会への報告、そして実施校につきましては、保護者、地域等へ公表をするという形になっております。

8番「令和元年度評価結果について」でございますが、こちらから別紙で、かなりページ数ございます。少し象徴的なところについてご説明をさせていただきたいと思っております。

まず3ページでございます。小松南小学校でございます。1の「授業の状況」の⑤でございます。小松南小学校ですけれども、全学年でノートの取り方の形式を統一し、ノート指導の徹底に努めているという評価がございました。児童がノートに書きやすいように板書も工夫をされておりました。

1枚おめくりいただきまして、4ページでございます。3の「教育環境の状況」の①でございます。学校がとてもきれいで、ごみも落ちていない学校環境でございました。落ちついた学校生活を生み出す環境づくりとして、「教室環境スタンダード」というものを作成し、指導しているということでした。

③番目、職員室の環境改善として、机上にはパソコンのみ置いてあるということで、非常に整理整頓されていると評価しております。

6ページをご覧ください。6の「保護者・地域との連携の状況」の⑥でございます。「わくわくチャレンジ広場」が充実をしておりました。英語や書道の他に「寺子屋」と称し、勉強を教えたりということで、その様子も拝見し、評価委員から評価をされております。

次に、清和小学校でございます。7ページをご覧ください。少し課題の部分が評価として挙がっておりました。1の「授業の状況」の①でございます。教員は「葛飾教師の授業スタンダード」を意識し授業を進めている。ただ「めあて」については、もっとできるだけ焦点化をし、児童が分かりやすいように具体的に表現する工夫がよいと感じる学級もあったということで、これにつきましては、訪問した際にすぐにその話をして、改善に結びつけたと聞いております。

2の「教育課程実施状況」でございますが、②です。教職員も学校経営方針をよく理解していて、同じ方向を向いて児童の指導に取り組んでいるという評価がございました。これも簡単なようでなかなか難しいことで、学校の経営方針を教職員が理解している、そのような様子が2日間の中で見てとれたという評価をいただいております。

次に8ページをご覧ください。4の「生徒指導及び児童・生徒の状況」でございますが、「健全育成」の部分の③番目、学校意識調査によると、「学校が好き」「学校に行くのが楽しい」について、全学年90%を超えているという状況がございます。教職員が一人一人の児童を大切にしている証しであるという評価がございました。

次に9ページでございます。6の「保護者・地域との連携の状況」ですが、①です。地域は学校に協力的で全面支援をしている感じがする。学校地域応援団もいろいろな企画を考え、教員も行事に積極的に参加して信頼回復に努めている。

④でございますが、立石中学校の教員による出前授業、中青戸保育園、青戸福祉保育園の園児と1年生の交流、南葛飾高校の生徒による金管バンドの指導等、幼保小中高の連携に熱心に

取り組んでいるという評価がございました。

次に10ページでございます。中青戸小学校です。2の「教育課程実施状況」の②でございます。管理職についての評価でございます。学力が課題であったが、校長が自ら採点する姿を教員に示し、学力向上に関心を持たせるよう努力をしている。教職員に対し率先垂範の言動を示している。課題の読書活動も校長が自ら読み聞かせなどを行い、教員に範を示した結果、読書の年間冊数が倍増しているという評価がございました。

次に11ページでございます。6の「保護者・地域との連携の状況」の中で、②の学校地域応援団は挨拶の励行を地域で行ったり、行事の手伝いをしたり、地区センターなどを使って学習の見守りを行っている。家庭科の授業でも調理実習や裁縫の実習の手伝いをしている。自校で応援活動ができるメンバーが不足すると、青戸小学校、中青戸小学校、青戸中学校3校の、「青」が三つついているので「ブルースリー」と名付けているようなのですが、その他校の応援に参加し、共通のボランティア活動をしているという取組を評価しておりました。

次に、幸田小学校でございます。15ページをご覧ください。6の「保護者・地域との連携の状況」の③ですが、本校の特徴として児童が枝豆の栽培や稲を育ててお米を作ったりして、地域の力で児童はよい体験ができています。その活動の中心となり、地域に働きかけてくださるのが学校評議員の方々である。児童の貴重な体験活動を持続して欲しいというような評価がございました。

次に、16ページ、東金町小学校でございます。2の「教育課程実施状況」の④でございます。現在、東金町小学校は学校改築のさなかでございますが、「改築を改革のチャンスに」をモットーに、校内研究とプログラミング教育の研修を軸に教員の指導力向上を目指し、小規模校の利点を生かした教育活動の充実に取り組んでおります。

3の「教育環境の状況」でございますが、①校舎改築中で体育館などを解体してしまったので、他校にない配慮をしている。児童の安全には非常に注意を払っているという評価がございました。

次に18ページでございます。6の「保護者・地域との連携の状況」の⑤、芝生の校庭を地域の人もグリーンキーパーとして参加していただき、絆ができたが、改築のため芝生がなくなってしまったということは惜しい。芝生の管理をやってくださった方が毎週日曜日に歩道のごみ掃除を続けているということを知った。その姿は学校を愛してのことと同時に児童の心の育成につながる。児童や地域にぜひ知らせてほしい。地域に支えられているという事例の一つであるという評価がございました。

次に、堀切中学校でございます。19ページです。「授業の状況」でございますが、①、生徒は落ちついた雰囲気の中で授業に臨み素直である。ただ、2年生の一部にやや集中できない生徒も見られたということが評価としてあります。②としては、教員は熱心であるが、教員主導型の

授業が多く見られたということで、そのあたりの改善に向けた評価もございました。

2の「教育課程実施状況」の②です。校長は人権尊重教育を基盤とした学校経営を目指している。「怒鳴らない」「叱らない」指導を心がけるよう教員を指導しており、プラス指向で、いい雰囲気を醸成しているという評価がございました。

3の「教育環境の状況」でございしますが、校庭の芝生化で生徒のけがが減少しているという評価。また、近隣住民の校庭の砂が飛散することへの苦情もなくなった。人工芝ということで、維持していく面でも苦労があると思われるが、よく管理されておりメリットが多いようであるという評価がございました。

次に20ページでございします。4の「生徒指導及び児童・生徒の状況」の⑥、不登校生徒の問題については、スクールカウンセラーや特別教室専門員、特別支援学級の教員とも情報を共有して取り組んでいることはとてもよい。また「生徒カンファレンス会議」を見学させてもらい、積極的に情報交換され、対応策を話し合われている様子は心強く頼もしい。特にスクールカウンセラーが積極的に関わっており、今年度11月から2年生の全員面接を、次年度4月からは全校生徒面接に拡大する予定とのこと、すばらしい取組であるという評価がございました。

次に23ページでございします。亀有中学校です。3の「教育環境の状況」の④、校長は外部の専門家の指導者を招き、生徒のレベルアップを図るとともに、教員の研修の場としていきたいとの考えである。音楽科では合唱の専門家を招くなど、外部人材を積極的に活用し、成果を上げつつある。教員にとっても研修となり、よい影響を与えている。

4の「生徒指導及び児童・生徒の状況」の②です。意識調査の結果、「学校が好き」と答える数値が高いことや、行事に意欲的に熱心に取り組む生徒が多い。いじめ調査でも生徒の意識が高く、友だちを大事にする態度が多く見られた。3年生のクラスで給食を一緒に食べたときも話題を振ってくれるなど、気遣う様子や、生徒たちの楽しそうな雰囲気からも学校が好きなことを実感したという評価がございました。

次に葛美中学校でございします。25ページ。2の「教育課程実施状況」の③、本校の「特色ある活動」はほとんど全部が「地域との関わり」をもって行われている。そのことが本校の特色でもある。地域行事または学校行事への参加・交流や生徒と地域との意見交換など、教員と地域が一体となって生徒を育てるという意識がある。また、教員は授業を大切にしようとする姿勢を持っているという評価がございました。

26ページでございします。3「教育環境の状況」です。③、学校地域応援団やPTAの方々のサポートもあり、授業以外のサポート体制が整っている。11年間続いているという「がんばらナイト」も毎回約40人の生徒が参加しているという評価でした。

27ページ、5の「学校の組織運営の状況」でございします。④、「主体的な学び」をテーマにして、区の研究指定を受け、コの字型の学習形態・4人組のグループ活動を導入し、授業を活

性化させようとしている。結果、学力の向上が見られた。さらに工夫し、有効化を追究してほしい。そして工夫した研究成果を他の学校にも広めてほしいというような評価がございました。

2ページにお戻りください。「成果と課題」でございます。評価委員による報告からは、どの実施校も「ねらい」「めあて」の提示など、「葛飾教師の授業スタンダード」の浸透が見られ、一定の評価が得られたところでございます。しかし、一部の実施校では教師主導型の授業が見られ、今後の改善が求められます。また、各学校ともに地域と良好な関係を築きながら、連携をした教育を進めており、今後も教員や児童・生徒の地域行事への参加等、努力の継続が求められるとの内容がございました。

実施校につきましては、計画的に指定し、これまで10年間で実施した学校は、小・中学校合わせて55校、全校の74%となっております。一方で、複数回、実施している学校もある中で、引き続き未実施校への対応、学校のニーズへの対応が課題として挙げられます。各学校の実施時期等、希望に応じ引き続き調整を図り、より充実した実施内容となるよう改善を図ってまいります。

最後に10「次年度について」でございますが、年度当初に実施希望校を募るほか、教育委員会が未実施校や昇任校長校等を指定し、合わせて8校以内で実施してまいりたいと考えております。

ご報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

塚本委員。

○塚本委員 ただいま指導室長から縷々説明いただきました。特に1ページ目の裏面でしょうか、「成果と課題」の中に掲げられている各学校にそれぞれの問題点が指摘されてございます。これは特に年度が改まりまして、校長のいわゆる学校経営プレゼンテーション等も予定されていると思いますので、これをもとにしながら、新しい校長先生方にこの評価を参考にしながら私も質問してみたいと思います。ただ、非常に実施校も定着化が図られて、74%ですか、大分高率になってきましたけれども、逆に少し心配なのは、10年のスパンでやってきて、複数回お受けになっている学校もあるやに伺ったのですが、経年的に実施しますと、一番最初のグループは約10年のスパンということになりますと、どこかに疲労が出てきやしないかなという思いもございますので、総合的な第三者評価で、ベテランの先生方の評価を受けていますので、貴重な資料になろうと思いますので、これを校長会等で申し送りながら提示していただければという感想を持ちました。

以上です。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

齋藤委員。

○齋藤委員 まず、未実施校があるということなので、もう10年経っているのに未実施校があるということはどういうことかという気がしますので、この辺についてはしっかり取り組んでいただきたい。来年度取り組むということですので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、この中には、課題を指摘している部分と評価をしてすばらしい取組をしているという部分、両方評価されているのですけれども、課題については、その学校の課題ですので、学校の中でしっかり来年度取り組んでいただけるように指導していただきたいと思ひますし、よい点については他の学校でも生かしていける内容もかなりありますので、その学校だけに「よかったね」というのではなくて、よい点については他の学校も参考にできるものは生かしていけるように情報提供するなりして、より葛飾区の学力向上や学校の環境をよくするとか、様々な点でこの評価を生かしていけるようにお願ひしたいと思ひます。

要望で結構です。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

望月委員。

○望月委員 私もこれを読ませていただいて、各学校とも本当に皆さん頑張つて評価を受けていたのかなと感じました。それと、今、齋藤委員さんがおっしゃつたように課題が出たところはそれに向かつてもう少し早く改善していただければということも思ひました。

一つお聞きしたかったのは、教員の平均年齢が5年前より10歳若くて、37歳という学校が9ページにあったのですけれども、37歳の平均年齢ってすごく若いすよね。ですから、よその学校の、大体でいいのですけれども、何歳ぐらいが教員の平均年齢かなというのをお聞かせください。

○教育長 指導室長。

○指導室長 10歳若くてということがありますけれども、非常に若手の採用が増えているというのは実情でございます。ただ、採用される年齢等もあります。多くの小学校では、最初に初任校として行き、大体6年で異動となるのですけれども、大方6年目までその学校しか経験がない教員が大体半分ぐらいを占めているのが小学校では多いケースでございます。ということは、非常に若手が今増えているというところで、20代、30代あたりが非常に多い状況で、団塊の世代が退職をされているというところの二極化が大きな課題かなと、特に小学校については考えております。

○教育長 望月委員。

○望月委員 それで若い人がどんどん増えていくというのはすごくいいことだと思うのですけれども、その若い人たちを育てる人たちをもう少し増やしていただければと思ひます。

○教育長 ただいまのはご要望ということでよろしいですか。

○望月委員 はい。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

日高委員。

○日高委員 私どもも各学校を訪問することは多いわけですが、特に研究発表会等、葛飾の授業スタンダード、実に周知されてきているなど感じます。ただ、ここでご指摘のように、教師主導型の授業というのは反省させるべきことだろうと思いますので、ぜひそのあたりを次年度の教育課程にしっかり引き継いで、それを改善されるようにご指導方をお願いしたい。

また、これを最後に各学校に示すわけですから、示すときにそれを配慮して、ぜひ指摘をしっかりとした上で各学校に指導に当たっていただきたいとお願いをしたいと思います。

そして、もう 55 校やってきたわけですね。9 年間という、もう 10 年ひと昔になりますから、そういう意味では、小・中学校合わせて 70 数校あるわけですが、これは、幼稚園は対象にはなっていないですか。

○教育長 指導室長。

○指導室長 幼稚園につきましては、対象にしておりません。

○日高委員 何か理由はありますか。

○教育長 指導室長。

○指導室長 当然ながら、幼稚園にもそういった経営の改善は求められるところでございますが、現段階、まだ全校もやっていないところですので、小・中学校をということで対象として考えております。

○日高委員 なるほど、わかりました。そういうふうに、これからあと残り 10 数校あるわけですから、来年は 8 校ということですが、早いうちに一回りをさせて、そして、これは複数回やったという学校があるということですから、そのあたりを配慮いただいて、ぜひ全ての学校が早く一度は経験したよと、こういう評価の世界になれるようにご配慮いただければありがたいと、お願いをしておきたいと思います。

以上です。

○教育長 ありがとうございます。

ほかに。

塚本委員。

○塚本委員 先ほど職務代理者もおっしゃっていたのですが、教員が非常に若返ってきていると。ただし、指導室長にお答えいただきましたように、新規採用から同じところに異動なくという方もいらっしゃるやに聞いています。特に、最近のメディアでご存じでしょうけれども、若手の教員の離職率というのでしょうか、社会の話題になっていますね。そういう意味では、

日高委員がおっしゃっていただきましたように、本区で実施しています研究指定校発表会、そういったものを活用して、新任教諭なり担任教諭をサポートしながら、教員同士が学ぶというのを更に充実化を図っていただき、今後の糧としていただき、特にそういった教員同士が切磋琢磨することによって自分に気付きができるでしょうし、それがまた次代の教員にもつながっていくかなという感想を持ちましたので、大変な作業ですけれども、強化していただきたいと思っております。お願いでございます。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

大里委員。

○大里委員 ほかの委員の方からたくさんお話が出ましたので、私からは、この報告を見まして、どの学校も地域の方々が非常に協力をしてくださっていて、支えてくださっているということがわかります。引き続き地域の方々との関係をつなげていって、そして保護者や地域へどんどん学校のことを発信していって、さらにご理解、ご協力をいただけるようにしていけたらいいなと思いました。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、報告事項1を終わります。

次に報告事項等の2「令和2年『はたちのつどい』の開催結果について」の説明をお願いします。

地域教育課長。

○地域教育課長 それでは「令和2年『はたちのつどい』の開催結果について」説明を申し上げます。

本事業につきましては、新たに成人の仲間入りをした成年の新しい門出を祝福することを目的といたしまして、昭和26年から開催をしているものでございます。

資料の1の「日時」でございます。去る1月13日（月）祝日に開催をいたしました。式典・記念コンサートは、午前の部が午前10時30分から、午後の部は午後1時からで、午前の部には郵便番号124の区域の方を、午後の部には125の区域の方をご案内いたしました。

（2）の各コーナーでございますけれども、午前10時30分から午後3時まで設置をしたところでございます。

2の「会場」でございます。式典・コンサート会場といたしましてモーツァルトホール、映像中継会場といたしましてアイリスホール、各コーナーにつきましては別館を使用したところでございます。

3の「対象者」でございます。本年は4,336人で、前年と比較いたしまして57人減少してございます。

4の「内容」でございます。(1)の式典・記念コンサートにつきましては、葛飾ジュニアリーダークラブの新たに成人となりました3名に新成人司会としてのご協力を得るとともに、記載のアからオの内容で構成をいたしました。

(2)の各コーナーにつきましては、記載のアからエのコーナーを設置いたしました。

裏面をご覧ください。5の「来場者」でございます。総数約2,500人でございまして、内訳は(2)に記載のとおりでございます。なお、ウの「その他来場者数」の約200人でございますけれども、こちらの人数につきましては、モーツァルトホールに入場されなかった、外ですっという方等の人数でございます。

続きまして、6の「運営体制」でございます。(1)の従事者数は177人で、民間委託警備員70人に加えまして、青少年委員やジュニアリーダークラブの皆様のお力添えをいただきました。このほか(2)の警備協力といたしまして、葛飾警察署員53人のご協力をいただいたところでございます。

説明は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告について、ご質問等ございますか。

齋藤委員。

○齋藤委員 会場で映像会場がありますが、この映像会場にはどのぐらいの人が入れたのかというのが、知りたいと思います。

それから、午前の部1,200人、午後の部1,100人、その他が200人ということですが、入りたいという方はみんな入れることができ、規制して入れなかったということはなかったのか。みんな入れたのかということと、そのアイリスホールの件と、状況を教えていただければと思います。

○教育長 地域教育課長。

○地域教育課長 午前の部につきましては、1階、2階の会場、ほぼ満席という状況でございました。午後の部につきましては、2階席の4分1程度に空席があったと認識をしております。その他の来場者数の中継会場の利用人数でございますけれども、午前中につきましては、数人いらっしゃいました。午後につきましては、約40名ほどの方が中継会場をご利用いただいていたところでございます。

規制等によって入らなかった方がいらっしゃったかというご質問ですが、基本的には午前の部もモーツァルトホールに入場するために並んでいただいた方については入場できたと認識をしております。

○教育長 齋藤委員。

○齋藤委員 わかりました。

アイリスホールの映像会場というのは、そちらもあるよということは周知した上で、結果的には数人と40人ぐらいだったということになりますかね。

○教育長 地域教育課長。

○地域教育課長 ご来場いただいた方には、会場の案内図を記載したパンフレットを配布して、モーツァルトホールに入場する意思のない方につきましては、アイリスホールでも場内の様子の中継映像で見ることができるというご案内をしている中でこの人数、結果ということでございます。

○齋藤委員 私は、人数は少なかったかもしれないけれども、別の会場が用意されているということはいいことだと思います。ああいう大きな会場に入りたくないけれども、どこかにいたいという人が200人いるわけですから、そういう人たちの受け皿はあるのだけれども、また外にいるということは、選択肢があって、入れなくなって、よくほかでいろいろな事件が起きますけれども、そういうことがなく落ちついた形でこの成人式が運営されていくのではないかということの一つ、目に見えないかもしれないけれども、効果があると思いますので、少ないからといって、やめないでもらいたいと思います。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにご質問等ございますでしょうか。

望月委員。

○望月委員 一つ感想なのですが、私、午前午後と2回、成人式に参加させていただきました。午前もとてもすばらしい、皆さんおとなしく、本当に騒ぐ人もいなかったですし、午後の部もきちっと聞いていたり見ていたりしたのかなと思いました。それと同時に私が一番感じたのは、新成人のメッセージがありました。ジュニアリーダーの方3名、司会をやられたあの方たちのメッセージがすごくすばらしかった。やはり両親に感謝している、今まで育ててくださった皆さんに感謝しているということをきちっとお話しされていたので、今の若い人たちがみんなこうであって欲しいなど、私も涙をぼろっと流しながら聞いておりましたけれども、今の若い人たち、みんなこうやって頑張ってくれているのだというのをあの成人式を見て本当に感じました。

それから葛飾総合高校の演奏がありました。あの方たちも本当にすばらしく会場を盛り上げてくれたと思います。それと同時に、あの演奏のすばらしさは、葛飾区の小・中学校の特に金管バンドやっている子どもさん、生徒さんたちにはぜひ見せてあげたいというのが、2回聞いてそう思いましたので、機会があればそういう方向も考えていただければいいと思います。同じ地域にいて、そういう高校生が頑張っているというのを。そうすると小・中学校の金管バンドの人数がもっともっと増えるのかなと。なかなか今、小・中学校でも人数が少ないという

学校もあるのですね。そういう場合でも、ああいうのを聞かせてもらうと、「あっ、じゃちょっとやってみたいな」というのがあるので、小・中学生にぜひ聞かせてあげて欲しいなと願いました。

以上です。

○教育長 ほかにご質問等ございますでしょうか。

よろしいですか。

それでは報告事項の2を終わりいたします。

続きまして、報告事項等の3「スポーツクライミング施設について」の報告をお願いします。

生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 それでは、「スポーツクライミング施設について」ご説明いたします。

本区は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市の一員として、区民の気運を醸成し、スポーツを通じた健康づくりを推進するため、スポーツクライミング施設を整備しているところでございます。

まず1の「施設概要」でございます。(1)施設名称(案)は東金町運動場スポーツクライミングセンターです。(2)の設備等といたしまして、アのボルダリング施設。屋内施設となりますが、ボルダリングウォールは高さ5メートル、幅30メートル、諸室といたしまして、記載の部屋等を用意してございます。

次にイのリード・スピード施設、こちらは屋外施設となります。リードウォールが高さ16メートル、幅12メートル、4レーンの施設。スピードウォールが高さ16メートル、幅6メートル、2レーンの施設でございます。

なお、ボルダリングウォールの一部には、子ども用に登りやすい設定としたルートや、つかみやすいホールドを設置した子ども向けのウォールエリアを設けます。

裏面をご覧ください。2の「利用時間・料金等(案)」でございます。利用料金につきましては、他の体育施設と同程度になるように設定しております。まず(1)の貸し切り使用料といたしまして、各回2時間で、ボルダリングウォールが4,800円、リード、スピードウォールが各3,600円でございます。(2)の個人使用料は各施設2時間で、高校生以上が400円、小・中学生が80円でございます、利用できるのは小学生以上としているところでございます。

次に3の「管理・運営」についてでございます。管理・運営につきましては、クライミング施設の運営実績がある事業者への委託により行ってまいります。

次に4「今後の予定」でございます。令和2年2月の第1回定例会におきまして葛飾区体育施設条例の改正案を提案させていただきまして、令和2年3月末、スポーツクライミング施設が竣工する予定でございます。4月に物品等を準備し、供用を開始、オープニングイベントを実施する予定でございます。なお、オープニングイベントにつきましては、決定次第、ご案内

させていただきます。

5「その他」でございます。東京2020大会終了までの期間は、事前キャンプや直前練習の誘致を行っていく予定でございます。

説明は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

大里委員。

○大里委員 利用の仕方についてなのですが、貸し切りと個人の使用料が出ていますけれども、これを見ますと一般の人が個人的にも利用できるかと受け取れるのですが、例えば予約が必要なのかとか、利用方法についてどのようにお考えでしょうか。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 クライミング施設につきまして、他の、例えば奥戸総合スポーツセンターの大体育室なども同様なのですが、個人利用日と団体利用日、こちらを曜日ごとに分けたいまして行います。団体で利用できる日、個人で利用できる日というのがございますので、それで使用していただくのと、団体利用日につきましては、団体の予約がなかった場合には個人利用に振り替えて利用していただけますので、その情報につきましてはホームページ等で案内させていただく、そういうふうなことにしていく予定でございます。

○教育長 大里委員。

○大里委員 ありがとうございます。わかりました。

それと、この場所が交通の便が気になる場所なのですが、例えば大会のときはバスを出すとか、そういったことはお考えでしょうか。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 大会実施日には金町駅からのバス事業者に増便をお願いしたり、または大きい駐車場が水元公園内のやや離れた場所がございますが、そこからシャトルバスを運行するなどを考えてございます。

○教育長 大里委員。

○大里委員 ありがとうございます。

近くでないと、大人が車を運転して行くのでないと、子どもだけで行くとかはなかなかできないような感じのところかなと思いますので、交通の便を何とかうまくいくといいなと思います。

○教育長 そのほか何かございますでしょうか。

齋藤委員。

○齋藤委員 要望でいいのですが、東金町運動場の駐車場というのは現在、何台か停められるのでしたか。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 近くに水元公園の駐車場がございまして、80 台程度は止められたかと思
います。

○教育長 齋藤委員。

○齋藤委員 どの辺にあるのですか。東金町運動場の中にあるということでしょうか。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 東金町運動場の中というより、水元公園の設備として、付帯として駐車
場がございまして、今クライミング施設を建設しているすぐ横のような形でございます。

○教育長 齋藤委員。

○齋藤委員 水元公園の駐車場って、昔、広いところがあるじゃないですか。そちらではなく
て、ごんぱち池とか、あの近くにあると言っているのですか。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 水元公園の敷地内にはございますが、ちょうど少年野球場などがございま
して、そこと今クライミング施設を建設している近くののですけれども、その公園の敷地内に
ございます。

○教育長 齋藤委員。

○齋藤委員 80 台ぐらい。わかりました。そんな遠くないですね。

○教育長 徒歩で何分ぐらいの距離かわかりますか。

生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 クライミング施設ですと、ほんのすぐ横ですので、1 分かからないぐら
いの場所でございます。

○齋藤委員 わかりました。大丈夫ですね。

○教育長 よろしいですか。

そのほかにもございますでしょうか。

塚本委員。

○塚本委員 1 点だけ。状況だけなのですが、先ほどの各委員が、貸し切りの部分と個人マタ
ーということで出ているのですが、現在の体育協会の組織の中に、こういった同好の士とい
うか、スポーツクライミングをなさるような組織団体があるのかどうか。分かる範囲で結構な
のですが。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 葛飾区の体育協会参加団体の中には、例えば山岳連盟とかそういったも
のは残念ながらございません。今後、事業を進めるに当たりまして、今現在、東京都に山岳連
盟がございまして、そちらと連携をとりながら事業を進めていく、そういうふうにご

ざいます。

○教育長 塚本委員。

○塚本委員 せっかくのすばらしい施設ができあがるわけですから、そういった意味では、啓蒙することで多くの愛好家の方に、特に今、若い人にははやってきていますね。非常に注目を浴びている競技でございましょう。オリンピックでもそういうふうに向いますので。

それと、事前キャンプの誘致を行うというのが「その他」でございしますが、感触が何かあれば教えていただきたいのですが。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 窓口になっておりますのが、オリンピック・パラリンピック担当課でございします。そこから聞いているところだと、何カ国か問い合わせは来ているようですが、いかんせん施設自体がまだでき上がってございませぬので、それができた時点で確認をしたいという話でございします。

○塚本委員 ありがとうございます。

○教育長 よろしいでしょうか。

そのほか何かございしますか。

日高委員。

○日高委員 すばらしい施設ができるということですから、大歓迎です。老婆心ながら、問題は維持管理といいますか、特に管理の部分ですよね。非常に高い、5メートルもあって、30メートルも幅があるという屋内の施設ですよね。かと思うと、屋外においては、高さが16メートル、そして幅が13とか6メートルとかいう、そういう施設になっている。これはよっぽど管理をきちんとしておかないと、少し便は悪いところなのですけれども、行く子どもはやっぱり行ったりして、青年だとかそういう人たちが特にこういう施設を雑に扱うようになっていくと困るなど。そういう心配をするわけでありまして、ぜひ、その辺の管理をしっかりできるような体制をとっておいていただきたいなど。施設管理ですよね。こんなふうをお願いをしたいと思います。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 施設には職員が常駐して監視をさせていただきます。危険な行為がありましたら、当然、注意いたしますし、適切に利用されるよう管理をしていきたいと考えております。また、屋外の施設、高さ16メートルございします。こちらにつきましては、やり方を間違えますと危険なものになってしまいますので、きちっと講習会等を実施して、認定を受けた方が使えるような施設、そのようにしてまいりたいと考えてございします。

○日高委員 ありがとうございます。

○教育長 望月委員。

○望月委員 一つ、いいですか。夜間の場合は、その屋外の施設というのはどうなるのでしょうか。そのまま誰でも入れるような感じではないのですか。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 この施設は9時まで運営することを考えておりまして、それ以降の管理体制ですが、いわゆるボルダリング棟とその周辺ですが、高さ2メートルの柵、忍び返し付の柵で覆いまして、入れないようにしているのと同時に、内側には赤外線センサーを取り付けまして、機械警備により、入ってくればすぐ通報されるというような形。あとは監視カメラも設置してございます。そういった形で、夜中に入って来られない、入ってきたとしてもすぐにわかるような対策をとってございます。

○教育長 よろしいでしょうか。

○望月委員 はい。

○教育長 そのほかございますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、報告事項の3を終わります。

以上で、本日の議事は全て終了となりますが、その他、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、令和2年教育委員会第1回定例会を閉会といたします。ありがとうございました。

閉会時刻 10時47分